

第 27 回技能グランプリ「機械組立て」職種 Q & A

参加される皆様方からお問い合わせいただく事項のうち、代表的なものについて「 Question & Answer 」という形でご紹介します。

中央職業能力開発協会

Q 1 : 部品図①について、全長が 58 ± 0.01 ということですが、課題 1 ページ目の 2.部品加工エウの条件に従うとすると、この面取りをした後の全長が 58 ± 0.01 になればいいのでしょうか？
それとも面取り前の状態で 58 ± 0.01 でしょうか？

A 1 : V面の延長線であり、面取り前の寸法となります。

Q 2 : 作業台高さ調整のための踏み台や、踏み板を持参する場合、持ち込み可能なサイズ等を教えてください。

A 2 : 踏み台は隣人に迷惑をかけなければ持参可能です。

なお、今大会では作業台のサイズは 900×1200 、横方向の作業台の間隔は 1500mm 程度を想定しております。 1500mm の間隔は共有スペース、及び通路を兼ねておりますので、良識の範囲内でお考えください(作業台間の縦方向の間隔は 1600mm 程度を想定しております)。



作業用足場板を持ち込みしたいのですが、サイズはいくらまで可能ですか。

Q 3：作業台に取り付けるバイスについて、持参したもの（会場設置品と同じもの）と交換して競技を実施したいのですが、会場設置のものを使用しなければならないのでしょうか。交換が可能と言うことであれば、口金部分をアルミに変更するなど、加工してもよいでしょうか。

A 3：会場で準備されているバイス(ナベヤ製ベンチバイス(口幅155mm)No.E-100)を取り外し、持参のバイスを使用することは可能ですが、持参したバイスに合わせて作業台に穴を開ける等、作業台を加工することはできません(作業台は借用品のため、追加加工が厳禁となっておりますのでご容赦ください)。作業台の穴の位置については、公表された課題中の「設備基準」を参照してください。また、「口金部の材質をアルミに変更」することは許可します。



バイスの口金の材質をアルミに変更したい。可能ですか？

Q 4：公表されている持参工具一覧表の鉄工やすりの備考欄に、“やすりは加工してもよい”とありますが、やすり2本を接合したものは使用可能でしょうか。

A 4：2本のやすりを接合したものの使用は不可です。やすり端面の研磨等は可能ですが、接合した場合は特殊刃物となります。従って、作業では使用することができなくなります。

Q 5：持参工具一覧表の測定器類の外側マイクロメータ、デプスマイクロメータのデジタル式使用は可能でしょうか？

A 5：デジタル式のものも使用可能です。

Q 6：機械組立て職種における工具類につきまして、エアスプレー缶の使用は可能かどうか確認させて下さい。

A 6：現場でもエアガンを使用している会社が多いと判断しますので「使用可」とします。競技会場でエアを使用する場合は、必要に応じてエアスプレー缶を持参してください。コンプレッサーの持ち込みは禁止とします。

以上

(1 月 25 日 追加分)

Q 7 : 課題組立て時に汚れ付着防止及び錆対策としてスミス手袋の使用は可能でしょうか確認させて下さい。

A 7 : スミス手袋の使用は許可いたします。

(2 月 7 日 追加分)

Q 8 : 部品②の加工でM6 タップをねじ込んだ状態で外周加工をしてもいいでしょうか？また、部品②のφ8mm穴に8mmのピンゲージを差し込んだ状態で外周加工をしてもいいでしょうか？

A 8 : 両作業共に禁止。競技中に実施した場合は”注意指導”します。

「競技課題」には、明記されていませんが、禁止している「部品を組付けた状態での加工は禁止」に類似する。

以上